

《担当者名》志水 朱 tantan@hoku-iryo-u.ac.jp

【概要】

初めて介護を学ぶ学生に対して、自分たちの身近なところから関心を広げていけるように、「生活」から入り、事例を学ぶことにより、介護福祉士の役割、専門性、「人を理解すること」ということについてなど全体像が描けるようにする。後期は歴史的背景や社会の中で介護福祉士に期待されていることについて学ぶ。倫理に関しては事例などを使用しながら、専門職として果たすべき役割について学ぶ。

【学修目標】

介護の歴史や介護問題の背景を理解し、介護福祉士を取り巻く社会状況を認識できる。
 介護の社会化の背景や、超高齢社会を担う専門職として介護福祉士に求められる社会的役割を理解する。
 社会福祉士及び介護福祉士法誕生の背景及び改正ポイントを理解し、介護福祉士の定義と意義を認識できる。
 介護の対象者が、高齢者に偏らないよう、障がい者に対する理解も同時に深めることができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	授業の内容と進め方 達成課題についての説明 介護・介護福祉士に対するイメージを膨らませる	志水
2	介護福祉の基本となる理念	日本の社会福祉史における介護福祉の位置づけ 社会福祉の歴史について理解することができる。	志水
3	介護福祉の基本となる理念	日本の社会福祉史における介護福祉の位置づけ 介護の歴史、介護の社会化について理解することができる。	志水
4	介護福祉の基本となる理念	介護福祉制度の成り立ちと発展について理解することができる。	志水
5	介護福祉の基本となる理念	介護ニーズの変化について理解することができる。	志水
6	介護福祉の基本となる理念	介護福祉の基本理念について理解することができる。	志水
7	介護福祉士の役割と機能	介護福祉の定義について理解することができる。	志水
8	介護福祉士の役割と機能	介護の役割と機能について理解することができる。	志水
9	介護福祉士の役割と機能	介護の役割と機能について理解することができる。	志水
10	介護福祉士の役割と機能	介護福祉士の活動の場と役割を理解することができる。 地域包括ケアシステム、介護予防と介護福祉士の役割について理解することができる。	志水
11	介護福祉士の役割と機能	介護福祉士の活動の場と役割を理解することができる。 災害時の介護福祉士の役割、人生最終段階と介護福祉士、医療的ケアと介護福祉士の役割について理解することができる。	志水
12	介護福祉士の役割と機能	介護福祉士を支える諸団体について理解することができる。	志水
13	介護福祉士の役割と機能	海外の介護福祉の状況について理解することができる。 (欧米)	志水
14	介護福祉士の役割と機能	海外の介護福祉の状況について理解することができる。 (アジア)	志水
15	介護福祉士の役割と機能	介護福祉士を取り巻く外国人労働者の課題について理解することができる。	志水
16	介護福祉士の倫理	専門職の倫理について理解することができる。 職業倫理、法令順守、倫理基準・行動規範について理解することができる。	志水

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
17	介護福祉士の倫理	専門職の倫理について理解することができる。 個人情報保護、利用者主体について理解することができる。	志水
18	介護福祉士の倫理	専門職の倫理について理解することができる。 アドボカシー、説明責任と同意について理解することができる。	志水
19	自立に向けた介護	介護福祉における自立支援の意義	志水
20	自立に向けた介護	介護福祉における自立支援の意義	志水
21	自立に向けた介護	介護福祉における自立支援の意義	志水
22	自立に向けた介護	介護福祉における自立支援の意義	志水
23	自立に向けた介護	生活意欲と活動 レクリエーションの意味について理解することができる。	志水
24	自立に向けた介護	生活意欲と活動 アクティビティについて理解することができる。	志水
25	自立に向けた介護	介護予防について理解することができる。	志水
26	自立に向けた介護	リハビリテーションと介護福祉について理解することができる。	志水
27	自立に向けた介護	リハビリテーションと介護福祉について理解することができる。	志水
28	自立に向けた介護	就労支援 働くことの意義、就労支援と介護福祉について理解することができる。	志水
29	自立に向けた介護	自立と生活支援 自立と地域社会との関係について理解することができる。	志水
30	自立に向けた介護	自立と生活支援 自立と生活環境について理解することができる。 (バリアフリー、ユニバーサルデザイン、福祉のまちづくり等)	志水

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

授業前の小テスト 60%

筆記試験40%

【教科書】

介護福祉士養成講座編集委員会編（2019）『最新介護福祉士養成講座 介護の基本 第2版』中央法規。

【備考】

この科目は、介護福祉士国家試験受験資格取得のための領域「介護」の教育内容「介護の基本」に該当する。

【学修の準備】

・専門用語が多いため、事前に用語等を調べ理解しておくこと。
予習は、新聞・ニュースなどによく目を通し、介護問題について理解しておくこと（30分）。
授業前に基本的な事項について小テストを行う。教科書をよく読み理解すること（60分）
復習は、講義の内容と社会の事象を考え、理解すること（30分）。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2,1,3

【実務経験】

社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士

【実務経験を活かした教育内容】

臨床および地域での介護分野の専門職としての実務経験を活かし、実践的教育を行う。